

スタープレミアム年金

STAR PREMIUM ANNUITY

[変額個人年金保険]

特別勘定運用レポート 2020年6月発行 (2020年5月末基準)

～ ご案内 ～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<https://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続きやご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。



カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

- ・消費税率の引上げにより、令和元年10月1日以降は信託報酬にかかる消費税率が10%になっております。
- ・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・商品の詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要／注意喚起情報>」「商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

特別勘定の種類

特別勘定名		主な投資対象となる 投資信託名	主な投資対象となる 特別勘定の運用方針	運用会社	信託報酬率(税込)
バランス	グローバル マーケット (01)	世界バランス・ファンド <適格機関投資家専用>	日本を含む世界各国の株式および公社債へ分散投資を行う投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。市況動向等を勘案して為替ヘッジを行うことがあります。	アバディーン・ スタンダード・ インベストメンツ 株式会社	年率0.748%程度
	日本株式 (01)	大和住銀日本株式 ファンドVA (適格機関投資家限定)	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	三井住友DSアセット マネジメント株式会社	年率0.748%程度
株式	日本 中小型株式 (01)	SG 日本小型株VA (適格機関投資家専用)	国内の中小型株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.825%程度
	海外株式 (01)	ラッセル・インベストメント 外国株式ファンド I-4B (為替ヘッジなし) (適格機関投資家限定)	日本を除く主要国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	ラッセル・ インベストメント 株式会社	年率0.88%程度
	新興国株式 (01)	DWS世界新興国株式 ファンドVA (適格機関投資家専用)	新興国各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	ドイチュ・アセット・ マネジメント株式会社	年率1.045%程度
	インド株式 (01)	CAリソなインド ファンドVA (適格機関投資家専用)	インドの株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.154%程度 (実質:最大年率 0.854%程度)*1
	日本債券 (01)	大和住銀日本債券 ファンドVA (適格機関投資家限定)	国内の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。	三井住友DSアセット マネジメント株式会社	年率0.429%程度
債券	海外債券 (01)	CA外国債券ファンドVAT (適格機関投資家限定)	日本を除く主要国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.407%程度
	新興国債券 (01)	GIM FOFs用新興国 ソブリン・オープンF (適格機関投資家専用)	新興国各国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	JPEルガン・アセット・ マネジメント株式会社	年率0.671%程度
	海外 ハイイールド 債券(01)	CA米国・ユーロ高利回り債 ファンドVA (適格機関投資家専用)	米国および欧州のハイイールド債券(高利回り債券)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.209%程度 (実質:最大年率 0.8915%程度)*1
	不動産 投資信託	グローバル REITファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券(REIT)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.528%程度
金融市場	マネー プール (01)	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。	アムンディ・ジャパン 株式会社	各月ごとに決定*2

・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク、お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定の種類

- * 1 以下の投資信託はいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。
 - ・CAリソナインド ファンドVA
 - ・CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA
- * 2 CAMマネープールファンドの信託報酬は以下のとおりとなります。
 - ① 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に②の率を乗じて得た額とします。
 - ② 信託報酬率は、各月ごとに決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.33を乗じて得た率（以下「当該率」といいます）とします。ただし、当該率が年0.055%以下の場合には、年0%超 0.055%（税込）以内で運用会社が任意に定める率とし、年0.385%超の場合には、年0.385%（税込）とします。なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

特別勘定による運用について

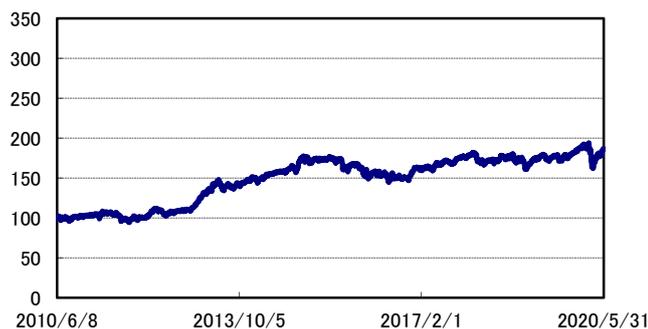
- この商品の特別勘定は主に投資信託に投資し、その運用実績をもとに年金額、解約払戻金額などが変動（増減）します。そのため、他の保険種類に関わる資産とは独立した方針にもとづき運用します。
- 各特別勘定の投資対象となる投資信託については、運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、投資信託の種類、運用方針、運用会社を今後変更することがあります。
- この商品の特別勘定グループにおいて、今後新たな特別勘定を設定すること、すでに設定された特別勘定を廃止すること、および複数の特別勘定を統合することがあります。

* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

(2020年5月31日現在)

グローバルマーケット(O1)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	3.09%	投資信託	95.44%
186.79	3ヵ月	2.30%	現預金等	4.56%
	6ヵ月	0.89%		
	1年	8.37%		
	3年	11.89%		
	設定来	86.80%		

日本株式(O1)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	4.85%	投資信託	95.02%
216.02	3ヵ月	2.15%	現預金等	4.98%
	6ヵ月	-6.87%		
	1年	6.52%		
	3年	8.38%		
	設定来	116.03%		

日本中小型株式(O1)



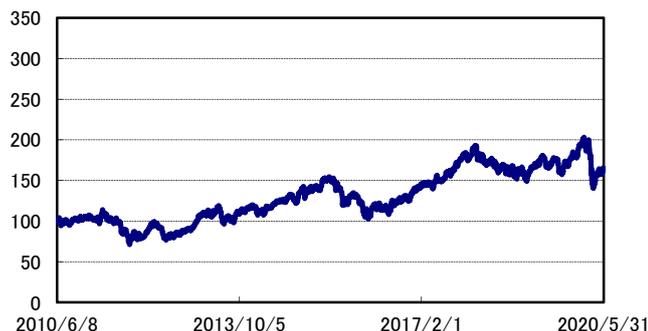
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	12.88%	投資信託	98.06%
229.72	3ヵ月	14.77%	現預金等	1.94%
	6ヵ月	-2.49%		
	1年	6.10%		
	3年	22.04%		
	設定来	129.72%		

海外株式(O1)



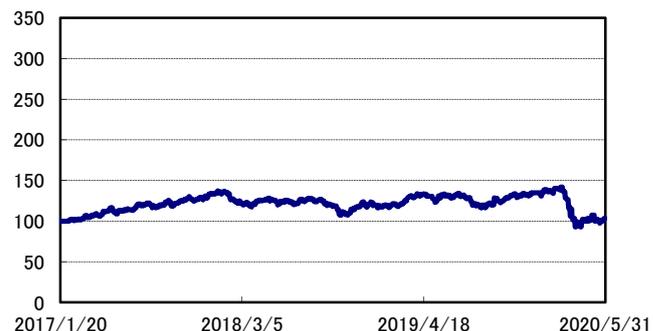
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	4.19%	投資信託	95.19%
295.87	3ヵ月	-3.55%	現預金等	4.81%
	6ヵ月	-8.80%		
	1年	1.52%		
	3年	11.29%		
	設定来	195.88%		

新興国株式(O1)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	-0.06%	投資信託	95.08%
164.25	3ヵ月	-10.13%	現預金等	4.92%
	6ヵ月	-10.17%		
	1年	-1.26%		
	3年	8.80%		
	設定来	64.26%		

インド株式(O1)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	-0.53%	投資信託	94.84%
103.33	3ヵ月	-23.98%	現預金等	5.16%
	6ヵ月	-22.82%		
	1年	-21.19%		
	3年	-7.43%		
	設定来	3.33%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

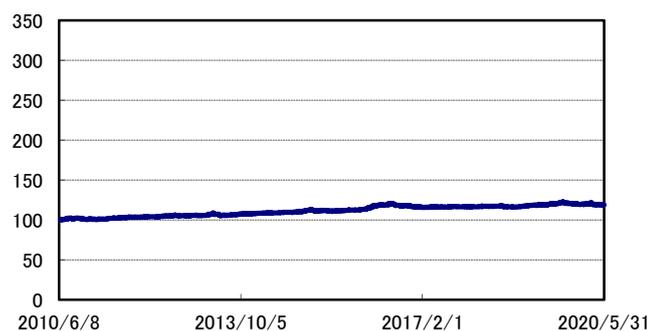
※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「スタープレミアム年金」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

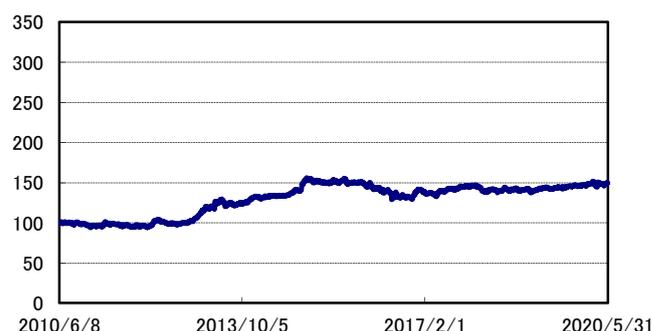
(2020年5月31日現在)

日本債券(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	6ヵ月	投資信託	現預金等
119.00	1ヵ月	-0.44%	投資信託	95.29%
	3ヵ月	-1.87%		
	6ヵ月	-0.99%	現預金等	4.71%
	1年	-0.65%		
	3年	2.14%		
設定来	19.00%			

海外債券(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	6ヵ月	投資信託	現預金等
149.85	1ヵ月	1.37%	投資信託	95.11%
	3ヵ月	-0.42%		
	6ヵ月	1.93%	現預金等	4.89%
	1年	5.42%		
	3年	7.69%		
設定来	49.85%			

新興国債券(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	6ヵ月	投資信託	現預金等
184.03	1ヵ月	8.53%	投資信託	95.03%
	3ヵ月	-10.58%		
	6ヵ月	-8.20%	現預金等	4.97%
	1年	-4.31%		
	3年	0.14%		
設定来	84.04%			

海外ハイイールド債券(01)



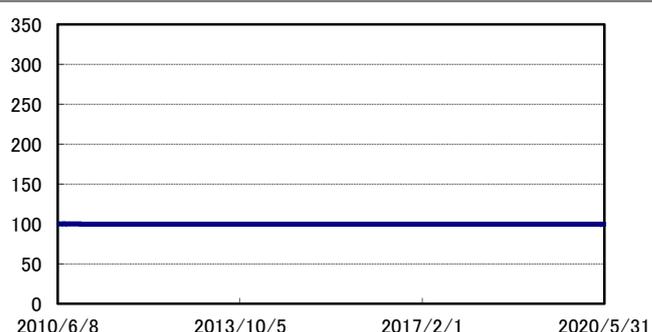
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	6ヵ月	投資信託	現預金等
185.26	1ヵ月	4.28%	投資信託	95.04%
	3ヵ月	-3.37%		
	6ヵ月	-2.63%	現預金等	4.96%
	1年	0.44%		
	3年	4.76%		
設定来	85.27%			

グローバルリート(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	6ヵ月	投資信託	現預金等
209.99	1ヵ月	1.11%	投資信託	95.55%
	3ヵ月	-19.24%		
	6ヵ月	-22.77%	現預金等	4.45%
	1年	-15.94%		
	3年	-8.90%		
設定来	110.00%			

マネープール(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	6ヵ月	投資信託	現預金等
99.44	1ヵ月	-0.01%	投資信託	50.06%
	3ヵ月	-0.01%		
	6ヵ月	-0.02%	現預金等	49.94%
	1年	-0.04%		
	3年	-0.10%		
設定来	-0.55%			

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「スタープレミアム年金」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバル・マーケット(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アバディーン・スタンダード・インベストメンツ株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

◇主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって中長期的な成長を目指します。

◇基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%としますが、市況見通しに応じて機動的な変更を行います。

◇市況動向等を勘案して為替ヘッジを行うことがあります。

◆ 主なリスク

価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	3.24%	2.41%	0.91%	8.78%	12.47%	110.21%

※設定来は2003年11月12日から計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



◆ ファンド概況

基準価額	21,021円
純資産総額	2,758百万円
設定日	2003年11月12日
決算日	原則 3月15日
信託期間	無期限

◆ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数* (参考データ)	ベット
米ドル圏	55.50%	55.88%	-0.38%
ユーロ圏	19.65%	22.15%	-2.50%
英ポンド	4.93%	5.06%	-0.14%
豪ドル(含むNZD)	1.61%	1.87%	-0.27%
スイスフラン	2.02%	1.64%	0.38%
日本円	16.30%	13.39%	2.90%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

◆ 資産別構成比

	ファンド	複合指数* (参考データ)	ベット
株式	54.61%	50.00%	4.61%
北米地域	41.41%	34.36%	7.05%
欧州(除く英国)	8.50%	7.45%	1.05%
英国	2.75%	2.33%	0.41%
日本	3.56%	4.07%	-0.50%
香港・シンガポール	-1.21%	0.74%	-1.95%
豪州・ニュージーランド	-0.41%	1.04%	-1.45%
債券	44.89%	50.00%	-5.11%
米ドル圏	19.73%	21.41%	-1.67%
欧州(除く英国)	14.60%	16.51%	-1.91%
英国	4.13%	2.72%	1.41%
日本	6.43%	9.36%	-2.93%
現預金	0.50%	0.00%	0.50%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、FTSE世界国債インデックスの50%を加重平均した指数です。

・当資料は、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

◆ 市況コメント

株式市場は、米国で国内の各州が徐々に経済活動を再開させたことから、早期の景気回復期待が強まり株価は上昇しました。欧州でも、各国は都市封鎖措置の段階的緩和を行ったことから株価は上昇となりました。日本は新型コロナウイルスによる経済活動抑制を受け、2020年1-3月期実質GDPは前期比▲0.9%と発表され2四半期連続のマイナス成長となりましたが、緊急事態宣言を全国で解除したこと、世界の主要国での経済活動制限の緩和姿勢が強まったことから早期景気回復期待が強まりました。

債券市場は、米国では長期金利はやや上昇しましたが、FRBは追加の金融緩和の検討も検討していることから金利は上昇しづらい展開となり狭いレンジ内の動きとなりました。欧州では域内各国が段階的な経済活動再開を行ったことからリスク回避姿勢が緩和し、金利は上昇に向かいました。月末のドイツ10年国債の利回りは、前月比0.14%上昇し▲0.45%となりました。日本では、日銀が新型コロナ対策金融支援特別オペの拡充を行うなど金利は上昇しづらい展開となり、狭いレンジでの推移となりました。

為替相場は、米ドルは107円80銭程度での若干の米ドル高・円安となりました。主要国の経済活動が徐々に再開されたことからリスク回避姿勢が緩和され円安傾向が強まりました。ユーロは、2円35銭ほどユーロ高・円安の1ユーロ=119円80銭程度での引けとなりました。域内主要国が相次いで都市封鎖措置の段階的緩和に踏み切ったことからユーロは前月の落ち込みから回復に向かいました。

◆ 組入上位10銘柄

株 式			債 券			
銘柄	国名	比率	銘柄	クーポン	償還日	比率
VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	2.95%	アメリカ国債	0.125%	2022/4/30	0.76%
MICROSOFT CORP	アメリカ	2.83%	アメリカ国債	0.375%	2025/4/30	0.71%
TENCENT HLDG LTD	中国	2.71%	アメリカ国債	0.500%	2027/4/30	0.51%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	2.35%	アメリカ国債	2.375%	2049/11/15	0.27%
NOVARTIS AG-REG	スイス	2.16%	スペイン国債	1.450%	2027/10/31	0.23%
ESTEE LAUDER CO-CL A	アメリカ	2.03%	日本国債	2.100%	2025/6/20	0.23%
AUTODESK INC	アメリカ	1.98%	アメリカ国債	3.875%	2040/8/15	0.22%
TJX COMPANIES INC	アメリカ	1.96%	日本国債	2.100%	2027/3/20	0.16%
ROCHE HLDG AG	スイス	1.93%	イギリス国債	4.250%	2049/12/7	0.16%
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	アメリカ	1.92%	ドイツ国債	0.500%	2025/2/15	0.14%
合 計		22.82%	合 計			3.40%

※各比率は世界バランス・ファンドにおける実質的な投資配分です。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

大和住銀日本株式ファンドVA(適格機関投資家限定)

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

わが国の株式を主要投資対象とし、ファンダメンタル価値比割安性(バリュー)を重視し、収益性・成長性を勘案したアクティブ運用により、信託財産の長期的な成長を目指します。
TOPIX(東証株価指数・配当込み)をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.96%	-0.62%	-10.50%	2.94%	4.33%	121.77%
ベンチマーク	6.82%	4.78%	-6.66%	6.15%	7.03%	108.92%
差	-1.85%	-5.40%	-3.85%	-3.22%	-2.70%	12.85%

◆ ファンド概況

基準価額	22,177円
純資産総額	2,290百万円
設定日	2003年9月2日
決算日	原則11月19日
信託期間	無期限

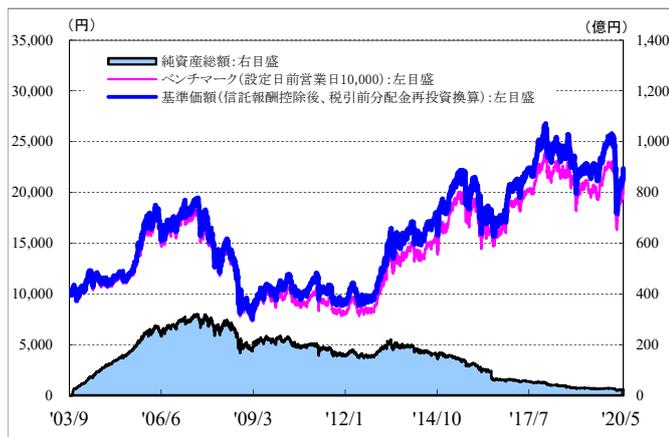
◆ 資産構成比

実質株式組入比率	96.18%
うち現物	96.18%
うち先物	0.00%
現預金等	3.82%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄[※]

順位	銘柄	業種	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	5.09%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.58%
3	ソニー	電気機器	4.47%
4	日本ユニシス	情報・通信業	4.38%
5	豊田自動織機	輸送用機器	4.29%
6	東京エレクトロン	電気機器	3.69%
7	NIPPO	建設業	3.55%
8	TDK	電気機器	3.24%
9	KDDI	情報・通信業	3.04%
10	日立製作所	電気機器	2.51%
組入全銘柄数: 71 銘柄			上位10銘柄合計 38.85%

◆ 市況コメント

5月のTOPIX(配当込み)は前月末比+6.82%の上昇となりました。上旬は、低調な米国経済指標などが重石となった一方、欧米の経済活動再開への期待から一進一退の展開となりました。中旬は、国内における新型コロナウイルスの新規感染者の減少やワクチン開発を巡る報道を好感し、持ち直す場面がありましたが、国内企業業績や米中関係の先行きなどに対する警戒は根強く、上値が重い展開となりました。下旬は、米中対立懸念が再燃したものの、国内における経済活動再開への期待が高まったほか、第二次補正予算案が閣議決定されたことなどを好感し、上昇しました。

◆ 組入上位5業種[※]

業種	比率
電気機器	18.03%
情報・通信業	17.01%
建設業	7.35%
輸送用機器	7.11%
化学	6.23%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本中小型株式(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

SG 日本小型株VA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日現在

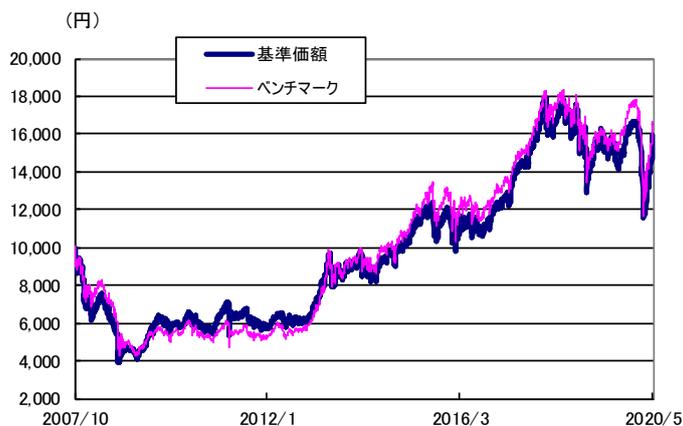
◆ ファンドの特色

東証1部およびその他市場、店頭市場への上場・登録銘柄を主要投資対象とします。
 ○投資方針
 ・小型株市場の中から、徹底したファンダメンタル・リサーチにより成長企業を発掘し、バリュエーション分析で銘柄の割安度を総合判断して投資することで、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。
 ・Russell/Nomura Small Cap Growth インデックスをベンチマークとし、中長期において、ベンチマークを上回ることを目標とします。
 ・ポートフォリオの構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。
 ※ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	13.17%	15.10%	-2.58%	6.27%	14.16%	59.05%
ベンチマーク	12.14%	15.63%	-4.36%	7.94%	14.99%	66.80%

◆ 基準価額推移グラフ



◆ 組入上位10銘柄※1

順位	銘柄	業種	比率
1	GMOインターネット	情報・通信業	2.52%
2	KHネオケム	化学	2.20%
3	タクマ	機械	2.16%
4	全国保証	その他金融業	2.12%
5	山一電機	電気機器	2.05%
6	ナカニシ	精密機器	2.01%
7	富士通ゼネラル	電気機器	1.91%
8	ダイワボウホールディングス	卸売業	1.90%
9	日本水産	水産・農林業	1.77%
10	フマキラー	化学	1.70%
組入全銘柄数: 78 銘柄			上位10銘柄合計 20.34%

※1 比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ ファンド概況

基準価額	15,905 円
純資産総額	42 百万円
設定日	2007年10月31日
決算日	原則9月10日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	93.24%
内現物	93.24%
内先物	0.00%
現預金等	6.76%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 市況コメント

5月の小型株式市場は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されるなど経済活動再開への期待が膨らんだことで前月に引き続き上昇しました。新型コロナウイルス収束後の社会で事業機会の拡大が期待されるサービスやバイオ関連株が物色され、そうした銘柄を多く含む小型株指数のリターンが大型株に比べて高くなりました。

当ファンドの基準価額は、ベンチマークをアウトパフォームしました。フィリピンでの通信インフラ企業としての成長期待が高まったアイ・ピー・エス(通信事業会社)などの保有がプラスに寄与しました。投資行動としては世界的な都市化、インフラ更新需要に加え、コロナ禍での財政政策拡大も追い風となる竹内製作所(海外販売中心の建機メーカー)を新規で組入れました。

◆ 組入上位5業種および市場※2

業種	比率	市場	比率
情報・通信業	18.66%	東京一部	78.71%
サービス業	11.47%	東京二部	17.69%
機械	10.88%	JASDAQ	2.09%
化学	10.80%	その他	1.52%
電気機器	8.86%		

※2 各比率は、マザーファンドの組入株式評価額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド I - 4B (為替ヘッジなし)
(適格機関投資家限定)

【運用会社】 ラッセル・インベストメント株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

・MSCI KOKUSAI(配当込み)をベンチマークとします。
・複数の運用スタイル、複数の運用会社(外部委託先運用会社)を組み合わせた『マルチ・スタイル、マルチ・マネージャー運用』を行うことにより、長期的により安定した運用成果を目指します。

＜『マルチ・スタイル、マルチ・マネージャー運用』の特徴＞

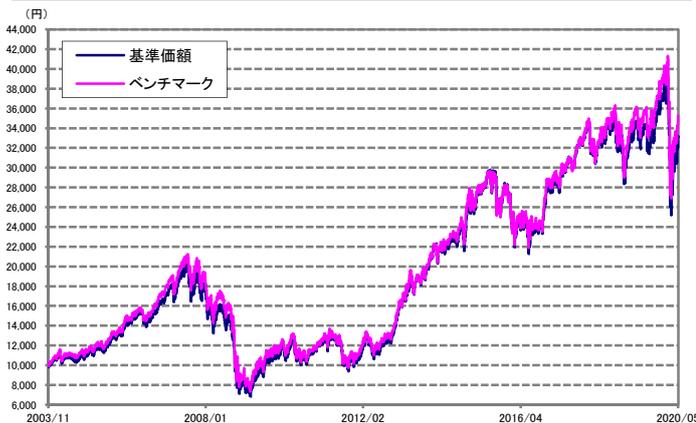
- 世界中から優れていると判断される運用会社を厳選します。
- 複数の運用スタイル、運用会社に分散しリスクの低減を図ります。
- 運用会社を継続的にモニタリングし、必要に応じてファンドで採用する運用会社の変更や追加等を行います。

【採用している外部委託先運用会社は次頁をご参照下さい。】

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.41%	-3.75%	-9.16%	1.61%	11.67%	231.02%
ベンチマーク	5.59%	0.71%	-6.72%	6.53%	18.52%	252.87%

◆ 基準価額推移グラフ



※上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。なお、ベンチマークは当ファンド設定日前日を10,000として指数化しています。

※基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	業種	比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.68%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.26%
3	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.49%
4	FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.24%
5	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	2.04%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.99%
7	AMAZON.COM INC	アメリカ	小売	1.90%
8	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	半導体・半導体製造装置	1.90%
9	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.89%
10	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	1.81%
組入全銘柄数:				459 銘柄
上位10銘柄合計				23.20%

※各比率はマザーファンドにおける株式等評価額合計に占める割合です。

◆ ファンド概況

基準価額	33,102円
純資産総額	7,334百万円
設定日	2003年11月18日
決算日	原則9月13日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	97.82%
うち現物	88.57%
うち先物	9.25%
現預金等	2.18%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

5月の海外株式相場は上昇しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比5.59%上昇)。海外株式相場は、米国では、新型コロナウイルス感染症の第2波への警戒や米中対立激化への懸念等が重しとなったものの、新型コロナウイルスのワクチン開発や経済活動再開への期待等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、主要国が相次いで段階的な経済活動再開に踏み切ったことや欧州復興基金創設への期待等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場、ユーロ/円相場ともに円安となりました。

こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)の基準価額は前月末比4.41%上昇しました(ベンチマーク比較のため期間調整したマザーファンドの基準価額は前月末比5.43%の上昇)。5月は、3社がベンチマークを上回り、3社がベンチマークを下回りました。グロース型のモルガン・スタンレーは、情報技術セクターのオーバーウェイト等のセクター配分、情報技術セクター等での銘柄選択がプラスに寄与し、ベンチマークを上回りました。一方、パリュー型のジャナスは、新興国の保有等の国別配分、情報技術セクターのアンダーウェイト等のセクター配分、情報技術セクター等での銘柄選択がマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。なお、マザーファンド全体では、国別配分および銘柄選択がマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。

◆ 組入上位5カ国、5通貨および5業種

	国名	比率		通貨	比率
1	アメリカ	68.78%	1	米ドル	68.81%
2	スイス	6.61%	2	ユーロ	8.95%
3	イギリス	4.60%	3	スイスフラン	6.61%
4	オランダ	2.80%	4	英ポンド	4.52%
5	フランス	2.76%	5	カナダドル	2.16%

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	10.37%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.22%
3	銀行	8.66%
4	メディア・娯楽	7.73%
5	ヘルスケア機器・サービス	6.82%

・当資料は、ラッセル・インベストメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド I - 4B (為替ヘッジなし)
(適格機関投資家限定)

【運用会社】 ラッセル・インベストメント株式会社

2020年5月29日 現在

外部委託先運用会社一覧(ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド)

「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」は、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。マザーファンドでは、グロース型、バリュ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、各運用会社の特性を最大に活かせるよう、運用を行っています。

運用会社	運用会社の特徴	運用スタイル	目標配分割合
フィエラ・キャピタル(米国) [投資助言]	フィエラは、投下資本利益率(ROIC)や自己資本利益率(ROE)、経済的付加価値(EVA)を重視して、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をボトムアップ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視します。なお、フィエラの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	グロース型	15.0%
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(米国) [投資助言]	モルガン・スタンレーは、投下資本利益率(ROIC)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークはあまり意識せず、新興国株式を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	グロース型	15.0%
サンダース・キャピタル(米国) [投資助言]	サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	バリュ型	20.0%
ジャナス・キャピタル・マネジメント(米国) [投資助言]	ジャナスは、株価収益率(PER)や株価純資産倍率(PBR)、株価キャッシュフロー倍率(PCFR)等のバリュエーション指標に加え、財務健全性やキャッシュフローの堅実性を重視するなど、株価のダウンサイドに留意したバリュ型運用を行います。なお、ジャナスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	バリュ型	15.0%
ニューメリック・インベスターズ(米国) [投資助言]	ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたりサーチ陣容や経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーを備えており、バリュ型、業績予想修正、株価モメンタム等の有効なファクターをバランス良く的確に捉える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。	マーケット・オリエンテッド型	22.5%
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)	ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュ型やクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。	ポートフォリオ特性補強型	12.5%

(注1)「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」では、マザーファンド全体の運用効率を高めること、各運用会社の入替え等に際しての資産の移転管理および一時的な運用、他の運用会社からの投資助言等に基づく運用、委託会社が必要と判断した場合におけるマザーファンドの一部についての運用等を行うため、「ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)」を採用しています。

(注2)「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」で採用している運用会社(外部委託先運用会社/投資助言会社)は当レポートの作成基準日現在におけるものです。運用会社は事前の通知なしに随時変更され、当レポートの作成基準日現在のものと異なることがあります。

(注3)「運用会社」について、運用の指図にかかる権限を委託する運用会社を「外部委託先運用会社」、外部委託先運用会社が投資助言を受ける会社を「投資助言会社」ということがあります。

(注4)「目標配分割合」とは、運用会社を組み合わせる際に目安とする配分割合をいいます。

<運用スタイルについて>

○グロース型

特に企業の成長性に着目し、利益等の成長性が市場平均よりも高いと考える株式(グロース株)を主な投資対象とする運用スタイルをいいます。一般的には、一株当たり利益(EPS)の伸び率や自己資本利益率(ROE)の高い銘柄が対象となります。

○バリュ型

特に株価水準に着目し、企業の資産価値などから判断して株価が過小評価されていると考える株式(バリュ株)を主な投資対象とする運用スタイルをいいます。一般的には、株価収益率(PER)や株価純資産倍率(PBR)などが低い銘柄が対象となります。

○マーケット・オリエンテッド型

「グロース型」や「バリュ型」のように、特定の傾向をもつ株式のみに焦点を当てるのではなく、幅広い株式を投資対象とします。

○ポートフォリオ特性補強型

採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクターの運用を行うことをいいます。

・当資料は、ラッセル・インベストメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国株式(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS世界新興国株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称: BRICsプラスVA>

【運用会社】 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 DWSインベストメント GmbH

2020年5月29日現在

◆ ファンドの特色

・主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等を主要投資対象としたDWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

・毎決算時(原則として8月18日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.07%	-10.74%	-10.80%	-1.47%	8.21%	2.03%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	国名	業種	比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.82%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体・半導体製造装置	8.55%
3	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	メディア・娯楽	8.20%
4	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	ケイマン諸島	小売	6.17%
5	LUKOIL PJSC-SPON ADR	ロシア	エネルギー	4.73%
6	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	小売	4.66%
7	SBERBANK-SPONSORED ADR	ロシア	銀行	3.97%
8	PING AN HEALTHCARE AND TECHN	ケイマン諸島	ヘルスケア機器・サービス	3.97%
9	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	保険	3.05%
10	PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	ブラジル	エネルギー	2.82%
組入全銘柄数: 44 銘柄		上位10銘柄合計		54.94%

◆ ファンド概況

基準価額	10,203円
純資産総額	8百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として8月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	94.63%
うち現物	94.63%
うち先物	—
現預金等	5.37%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

5月の新興国市場で株価はまちまちの展開となりました。ブラジルのボエバ指数は前月比+8.57%となりました。経済活動の再開やワクチンの開発への期待等を背景に投資家のセンチメントが改善したことに加え、追加の金融政策導入への期待や鉄鉱石の価格上昇等が好感されました。

ロシアのRTS指数は前月比+8.42%となりました。経済活動の再開やワクチンの開発期待などを背景に、金融市場でリスク選好の流れが概ね続いたことに加え、需給が改善するとの観測が強まり、原油価格が急騰したことなどがロシア株やルーブルを押し上げました。

インドのS&P・BSE SENSEX指数は前月比-3.84%となりました。経済活動再開への期待や追加利下げなどが株価の下支えになったものの、米中の対立や、国内の感染拡大に対する懸念、同国の経済対策が不十分との見方等が重石となりました。

中国のハンセン中国企業株(H株)指数は前月比-4.78%となりました。中国の景気刺激策への期待等が株価の下支えになったものの、米中の対立や、中国による香港の国家安全法の制定方針等に対する懸念が重石となり株価は下落しました。

新興国市場では、原油価格の反発から恩恵を受ける国を中心に、株価や通貨が売られすぎの水準から戻りを試す展開となっています。今後も新興国、先進国を問わず景気の悪化を示す経済データが発表されると思われますが、市場参加者はその先の回復だけに焦点を当てています。いずれにせよ、相場場の先行きを占う上では経済の回復ペースや経済活動再開のスピード感が重要であると考えています。また、米中間の緊張が高まるかどうかを注意深く見守る必要もあり、短期的にはこうした不透明要因を前に投資家の様子見姿勢が強まると見えています。運用にあたっては、コロナ禍が業績に及ぼす影響等を見極めつつ銘柄の選別を行なっていく方針です。

コメントは、DWSインベストメント GmbHの資料をもとに作成しています。

◆ 組入上位5カ国および5業種*

国名	比率
ケイマン諸島	19.67%
韓国	13.06%
ロシア	12.29%
ブラジル	11.88%
インド	10.61%

業種	比率
銀行	16.87%
エネルギー	14.23%
小売	10.82%
メディア・娯楽	9.60%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.44%

※ 各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

インド株式(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAIそなインド ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、インドの株式(ADR(米国預託証券)及びGDR(グローバル預託証券)を含む)に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.55%	-24.32%	-23.18%	-21.52%	-9.79%	51.71%

◆ ファンド概況

基準価額	15,171円
純資産総額	53百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

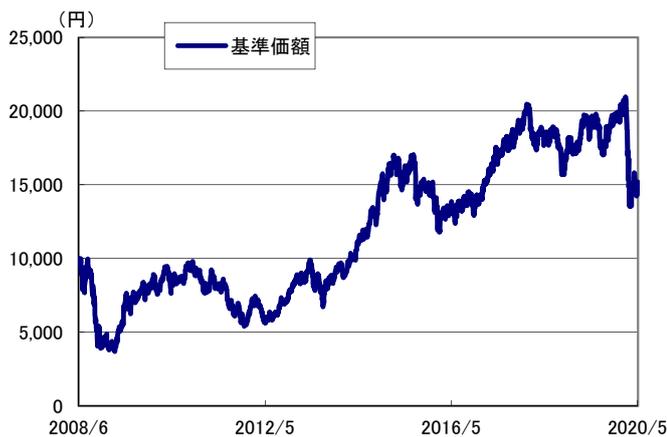
◆ ファンド内訳

Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	96.87%
CAマネープールファンド	0.27%
現預金等	2.87%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

5月のインド株式市場(S&P/BSE SENSEX インド指数)は、下落に転じました。主に金融株の下落によるものでインド準備銀行(中央銀行)が債務返済の猶予をさらに3か月延長したことや、全国的な都市封鎖による影響への懸念から、金融機関の財務状況が不安視されたことが背景です。規模別では、中型株と小型株は大型株より落ち込み幅が軽微でした。セクター別では、コミュニケーション・サービス、ヘルスケア、一般消費財・サービスが好調でした。一方、金融と情報技術、エネルギーは振るいませんでした。

投資先ファンド「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	ブハルティ・エアテル	電気通信サービス	8.42%
2	HDFC銀行	金融	6.21%
3	ディヴィズ・ラボラトリーズ	ヘルスケア	5.59%
4	インドステイト銀行	金融	5.25%
5	インフォシス	情報技術	5.15%
6	ラーセン&トップロ	資本財・サービス	4.83%
7	タタ・コンサルタンシー・サービス	情報技術	4.81%
8	ICICI 銀行	金融	4.73%
9	HCLテクノロジー	情報技術	4.19%
10	シュリー・セメント	素材	3.96%
組入全銘柄数: 35 銘柄			上位10銘柄合計 53.13%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
金融	30.62%
情報技術	14.14%
ヘルスケア	12.23%
一般消費財・サービス	9.17%
コミュニケーション・サービス	8.42%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

大和住銀日本債券ファンドVA(適格機関投資家限定)

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

わが国の公社債を主要投資対象とし、金利予測およびクレジット判断等に基づくアクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。

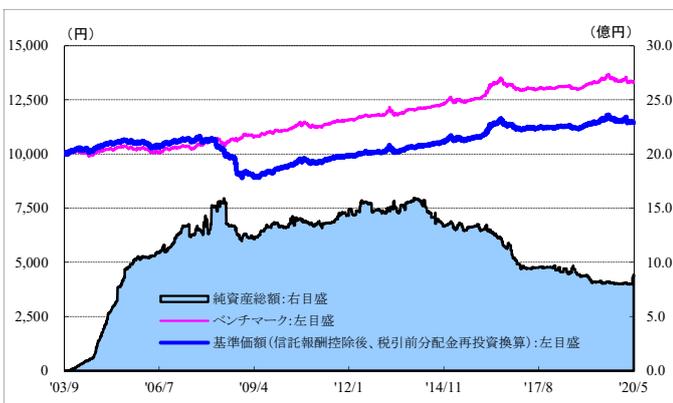
NOMURA-BPI総合指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざします。

※NOMURA-BPI(総合)は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.46%	-1.97%	-1.04%	-0.68%	2.20%	14.54%
ベンチマーク	-0.43%	-1.68%	-0.82%	-0.56%	2.26%	33.18%
差	-0.03%	-0.29%	-0.22%	-0.12%	-0.06%	-18.64%

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄[※]

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	150 20年国債	2034/9/20	1.40%	9.25%
2	346 10年国債	2027/3/20	0.10%	6.46%
3	142 5年国債	2024/12/20	0.10%	5.05%
4	358 10年国債	2030/3/20	0.10%	5.00%
5	149 20年国債	2034/6/20	1.50%	4.84%
6	357 10年国債	2029/12/20	0.10%	4.29%
7	115 20年国債	2029/12/20	2.20%	3.54%
8	47 30年国債	2045/6/20	1.60%	2.46%
9	354 10年国債	2029/3/20	0.10%	2.43%
10	133 20年国債	2031/12/20	1.80%	2.43%
組入全銘柄数: 86 銘柄		上位10銘柄合計		45.74%

◆ ファンド概況

基準価額	11,454円
純資産総額	888百万円
設定日	2003年10月1日
決算日	原則 11月19日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	98.64%
うち現物	98.64%
うち先物	0.00%
現預金等	1.36%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 市況コメント

月前半は、欧米での経済活動の再開期待や米国債の増発決定などを受け金利は上昇しました。月後半は、第二次補正予算案に伴う国債の増発観測を受け超長期ゾーン主導で金利は上昇しました。一般債市場は、海外クレジット市場の回復や日銀の社債買入れ枠拡大の期間延長を好感し、社債の国債対比の利回りスプレッドは、2019年12月以来5か月ぶりに縮小に転じました。

◆ 種別組入比率[※]およびポートフォリオの状況

種別	ファンド	ベンチマーク		ファンド	ベンチマーク
国債	71.61%	83.51%	平均複利利回り	0.21%	0.08%
地方債	1.89%	6.29%	平均クーポン	0.70%	0.88%
政保債	0.00%	2.32%	平均残存期間	10.71年	9.95年
金融債	0.00%	0.43%	修正デュレーション	10.24年	9.50年
事業債	21.10%	5.52%			
円建外債	0.00%	0.46%			
MBS	3.55%	1.40%			
ABS	0.47%	0.08%			

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を除く世界の主要国の公社債(国債等)を主要投資対象とした「CA外国債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券に投資することにより、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
 ・原則として為替ヘッジを行いません。
 ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。

※ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.44%	-0.45%	1.88%	5.53%	7.97%	50.46%
ベンチマーク	1.73%	-0.77%	2.16%	5.58%	9.37%	60.53%
差	-0.29%	0.32%	-0.28%	-0.05%	-1.40%	-10.07%

◆ ファンド概況

基準価額	15,046円
純資産総額	1,895百万円
設定日	2006年4月28日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	96.55%
うち現物	96.55%
うち先物	0.00%
現預金等	3.45%

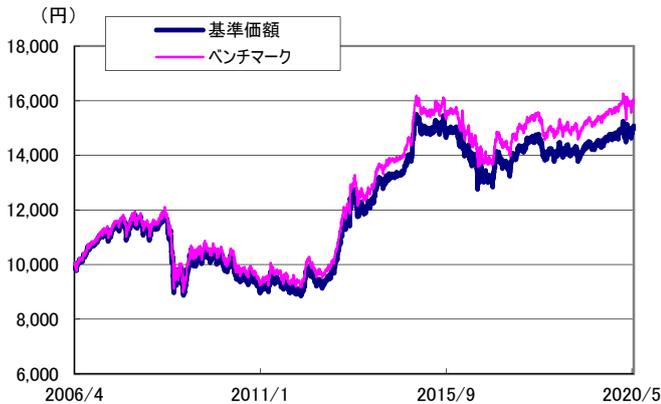
◆ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

5月の外国債券市場は、経済活動再開の動きに対して期待と不安が交錯したなかで、全般的に長期金利はやや上昇(債券価格は下落)しました。米国では、米中の関係悪化や厳しい経済指標などが金利低下要因となる一方、景気先行き期待の高まりが金利上昇要因となり、神経質に上下しました。欧州では、長期金利は緩やかに上昇しました。各国で経済活動が再開されて景気の先行きに対する安心感が高まりました。リスク環境が改善し、イタリアなど周縁国の金利が低下しドイツとのスプレッド(利回り格差)が縮小しました。

◆ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

	銘柄	利率	償還日	通貨	比率	
1	米国国債	2.000%	2021/2/28	米ドル	3.09%	
2	米国国債	6.250%	2023/8/15	米ドル	1.67%	
3	フランス国債	4.250%	2023/10/25	ユーロ	1.65%	
4	米国国債	2.000%	2023/2/15	米ドル	1.52%	
5	米国国債	1.625%	2023/10/31	米ドル	1.50%	
6	米国国債	2.875%	2025/5/31	米ドル	1.47%	
7	米国国債	2.750%	2023/5/31	米ドル	1.46%	
8	ドイツ国債	1.500%	2023/2/15	ユーロ	1.41%	
9	米国国債	2.750%	2023/7/31	米ドル	1.39%	
10	米国国債	5.500%	2028/8/15	米ドル	1.38%	
組入全銘柄数: 313 銘柄					上位10銘柄合計	16.53%

※比率はマザーファンド純資産総額比です。

◆ ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

平均複利回り	0.22%
平均クーポン	2.73%
平均残存期間	8.90年
修正デュレーション	8.07年

◆ 組入上位5か国および5通貨(マザーファンド・ベース)

	国名	比率		通貨	比率
1	アメリカ	45.30%	1	米ドル	45.30%
2	フランス	9.42%	2	ユーロ	38.37%
3	イタリア	8.72%	3	英ポンド	6.27%
4	ドイツ	7.25%	4	豪ドル	1.91%
5	イギリス	6.27%	5	カナダドル	1.89%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF(適格機関投資家専用)

【運用会社】 JPMorgan・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 J. P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク

2020年5月29日現在

◆ ファンドの特色

1.GIM新興国ソブリン・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
2.マザーファンドを通じて、主として世界の新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	8.95%	-11.14%	-8.65%	-4.58%	-0.01%	112.05%

*騰落率は、基準価額(信託報酬控除後)に税引前分配金を再投資して計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

基準価額は税引前分配金再投資、信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

(2020年4月30日現在)

順位	銘柄	国	通貨	比率
1	QATAR USD4.817%MAR49REGS	カタール	米ドル	1.61%
2	EGYPTUSD7.0529%JAN32REGS	エジプト	米ドル	1.31%
3	UKRAINE 7.75% SEP23 REGS	ウクライナ	米ドル	1.28%
4	URUGUAY USD 4.975% APR55	ウルグアイ	米ドル	1.28%
5	PERU USD 5.625% NOV50	ペルー	米ドル	1.22%
6	DOMREP 6.6% JAN24 REGS	ドミニカ共和国	米ドル	1.15%
7	ID ASAHAN 5.71% REGS	インドネシア	米ドル	1.13%
8	C IVOIRE6.875%OCT40 REGS	コートジボワール	ユーロ	1.11%
9	RUSSIA 5.625% APR42 REGS	ロシア	米ドル	1.06%
10	TURKEY USD 5.75% MAR24	トルコ	米ドル	1.00%
組入全銘柄数:		181 銘柄	上位10銘柄合計	12.16%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄については、開示基準日以外の情報と異なります。

クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ファンド概況

基準価額	6,788円
純資産総額	1,457百万円
設定日	2006年5月31日
決算日	原則毎月7日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	96.02%
うち現物	96.02%
うち先物	0.00%
現預金・その他	3.98%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

当月の米ドル建て新興国債券の利回りは、前月末比で低下(債券価格は上昇)しました。また、新興国スプレッド(米国公債との利回り格差)は前月末比で縮小しました。国別のパフォーマンスではアンゴラやザンビアなどが上昇した一方、ベネズエラなどが下落しました。

当月は、一部の新興国で新型コロナウイルスの感染拡大が続いているものの、多くの国で感染拡大の防止措置により感染者数の減少が見られ、経済活動の再開が進むとの期待などを背景に投資家心理が改善しました。

当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)は前月末比で上昇しました。米ドルが対円で上昇したことや、保有債券の価格上昇などがプラスに寄りました。国別では、メキシコやサウジアラビアなどの保有比率が上昇した一方、インドネシアやウクライナなどの保有比率は低下しました。

新型コロナウイルスの感染は急速に拡大し、経済活動の停滞によって新興国の経済成長は急減速しました。4-6月期の新興国の経済成長も新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気減速により大幅に落ち込むと見えています。経済活動を再開しつつある中国に関しても、2020年の成長率は当初の見込みより低下すると予想しています。投資家のリスク回避姿勢が依然として強いことから、短期的には米ドルが新興国通貨に対して堅調に推移すると考えます。こうした中、銘柄選択にあたっては、財政基盤が堅固で、中央銀行の政策について裁量の余地が大きい国を選択します。また、今後の景気動向を考慮し、米ドル建て新興国債券の中では、格付けが高めの債券を好みます。ハイ・イールド債においては、BB格債など格付けが高い発行体を厳選します。当面はリスク水準に留意して慎重な運用姿勢を維持します。

当ファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

*運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

◆ 組入上位5カ国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
メキシコ	7.16%	米ドル	97.66%
アラブ首長国連邦	3.80%	ユーロ	2.34%
トルコ	3.61%		
インドネシア	3.48%		
ドミニカ共和国	3.33%		

※2 各比率はマザーファンドベースで組入有価証券を100%として計算しています。

なお、クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付	BB+
平均デュレーション	8.29年
平均終利	6.65%

平均格付とは、債券資産等に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、JPMorgan・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
・主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.51%	-3.54%	-2.76%	0.46%	4.44%	53.76%

◆ ファンド概況

基準価額	15,376円
純資産総額	12 百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド	48.80%
Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	48.75%
現預金等	2.46%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

5月の米国株式市場は、新型コロナウイルスが世界的な大流行となるなか、ワクチン開発や新規感染者数の頭打ちを背景に、「ステイ・ホーム」制限が緩和され米国経済の再開が拡大し、楽観的な見方が広がり上昇しました。さらに国内外で講じられた追加的な政策支援が市場の不安感を緩和しました。このような環境下、米国ハイイールド債市場もセンチメントの改善などから上昇しました。セクター別でも油田サービスを筆頭にすべてのセクターが上昇しました。

5月は、特に新型コロナウイルスの影響を受けたフランス、イタリア、スペインなどで明確な改善がみられ、第2波のリスクは短期的に後退しました。さらに、経済的な観点からみると、多くの国の都市封鎖措置が段階的に終了したことで、経済は底入れしたという見方が広がりました。加えて、欧州委員会が5月末に最も窮地に陥っているセクターや地域の支援を目的とした欧州復興基金案を公表したことも市場の安心材料となりました。当月の欧州ハイイールド債市場は、スプレッド(国債との利回り格差)が大幅に縮小し、トータルリターンはプラスとなりました。発行体のデフォルト(債務不履行)は件数、金額ともに限定的でした。多くの欧州ハイイールド債の発行体は国家支援などを通じた資金調達手段を確保しており、短期的な流動性の問題は払拭されました。また、市場環境の改善を背景に、当月も引き続きハイイールド市場への資金流入が継続しました。発行市場では活発な起債が確認されました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B+
平均最終利回り	4.83%
平均直接利回り	4.22%
修正デュレーション	4.27年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日 現在

投資先ファンド「TCWファンズ-MetWest/ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄	投資国	クーポン	償還日	比率
1	REYNOLDS GRP ISS/REYNOLD	アメリカ	4.71888%	2021/7/15	2.77%
2	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	アメリカ	4.50000%	2032/5/1	2.22%
3	LEVEL 3 FINANCING INC	アメリカ	3.87500%	2029/11/15	1.56%
4	QWEST CORP	アメリカ	6.75000%	2021/12/1	1.52%
5	SPRINT CORP	アメリカ	7.87500%	2023/9/15	1.49%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	BB-
平均最終利回り	5.46%
平均直接利回り	4.96%
修正デュレーション	4.94年
組入全銘柄数	222

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AAA	2.65%	BB	17.80%
AA+	0.76%	BB-	8.77%
AA	0.75%	B+	15.55%
AA-	0.95%	B	5.63%
A+	0.77%	B-	4.10%
A	1.23%	CCC+	1.35%
A-	0.99%	CCC	0.97%
BBB+	2.41%	CCC-	-
BBB	2.44%	CC+以下 および無格付	2.51%
BBB-	19.28%	総計	100.00%
BB+	11.09%		

*現金等については「AAA」としています。

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

投資先ファンド「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	AMUNDI TRESO CT -C [※]	-	-	その他 [※]	4.01%
2	TITIM 4% 04/24 EMTN	4.000%	2024/4/11	イタリア	0.93%
3	TELEFO VAR PERP	4.375%	2024/12/14	スペイン	0.92%
4	AMUNDI RESP INVEST - EUR HG YLD SRI - I [※]	-	-	その他 [※]	0.87%
5	NFLX 3.625% 05/27	3.625%	2027/5/15	アメリカ	0.86%

※投資信託証券です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B+
平均最終利回り	4.43%
平均直接利回り	3.68%
修正デュレーション	3.82年
組入全銘柄数	319

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AA+	-	BB-	18.33%
AA	-	B+	7.56%
AA-	-	B	10.38%
A+	-	B-	5.80%
A	-	CCC+	2.83%
A-	-	CCC	0.22%
BBB+	4.76%	CCC-	0.27%
BBB	1.72%	CC+以下 および無格付	0.00%
BBB-	1.90%	CASH	8.28%
BB+	23.72%	総計	100.00%
BB	14.22%		

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.16%	-19.45%	-23.17%	-15.78%	-8.60%	31.63%

◆ ファンド概況

基準価額	13,163円
純資産総額	88百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

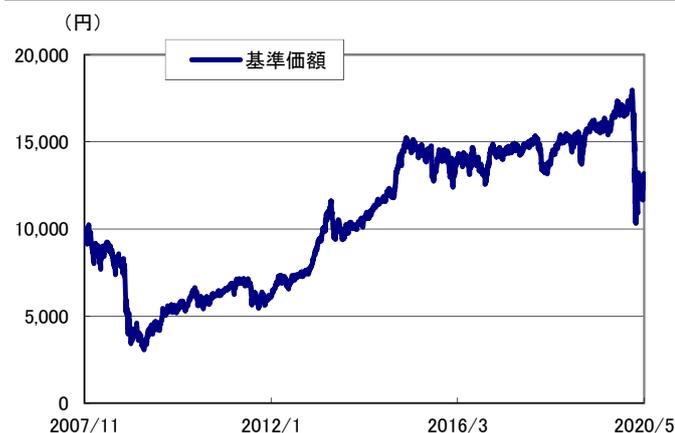
◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.32%
現預金等	1.68%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

5月の海外REIT市場は、S&P先進国REIT指数(除く日本、円ベース)が上昇しました。月初から半ばにかけて、米中の関係悪化や米大手アパレル、百貨店の経営破綻などからREITの業績悪化懸念が強まり大きく下落しました。月後半は、中国による統制強化が懸念される香港を除き、新型コロナウイルス治療薬の開発期待の高まりや積極的な財政政策、経済活動再開へ向けた各国の動きが好感され、海外REIT市場は値を戻しました。日本のREIT市場は、月前半に値動きの大きい展開となった後、新型コロナウイルス向けワクチン開発に関する報道などから市場心理が改善し反発に転じ、さらに月末にかけては経済活動再開への期待から上昇幅を広げました。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	国	通貨	比率
1	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	6.36%
2	EQUINIX	アメリカ	米ドル	5.15%
3	DIGITAL REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	3.67%
4	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	3.37%
5	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	2.55%
6	AVALONBAY COMMUNITIES	アメリカ	米ドル	2.41%
7	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	2.29%
8	WELLTOWER	アメリカ	米ドル	2.16%
9	SEGRO	イギリス	英ポンド	1.82%
10	REALTY INCOME	アメリカ	米ドル	1.70%
組入全銘柄数: 141 銘柄		上位10銘柄合計		31.48%

◆ 組入上位5か国※

国名	比率
アメリカ	63.18%
日本	14.26%
オーストラリア	5.37%
イギリス	4.53%
シンガポール	4.04%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年5月29日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.01%	-0.02%	-0.03%	-0.07%	-0.19%	0.46%

◆ ファンド概況

基準価額	10,046円
純資産総額	763百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

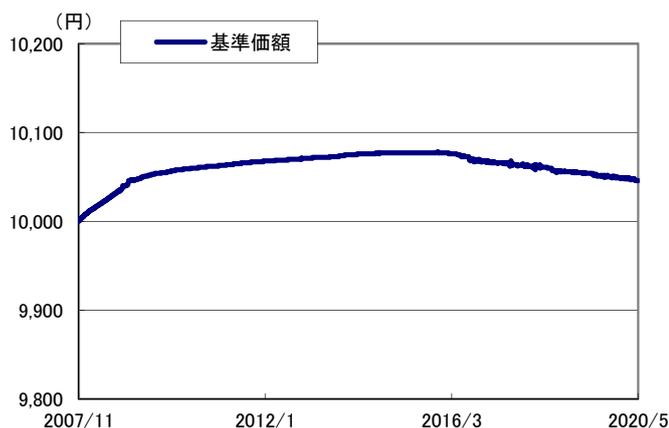
◆ 資産構成比

公社債	63.25%
現預金等	36.75%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第348回大阪府公募公債(10年)	2021/3/30	26.49%
2	第174回神奈川県公募公債	2020/6/19	23.61%
3	平成22年度第1回広島市公募公債	2020/10/26	13.15%
組入全銘柄数 3 銘柄		合計	63.25%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意いただきたい事柄

<投資リスクについて>

- 変額個人年金保険「スタープレミアム年金」は、特別勘定の運用実績によって積立金額、死亡保険金額、解約払戻金額、および将来の年金額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等のリスクがあり、運用実績によっては年金額や解約払戻金額等が一時払保険料の合計額を下回り、ご契約者に損失が生じるおそれがあります。これらのリスクはご契約者に帰属しますのでご注意ください。

<お客さまにご負担いただく費用について>

- この商品にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、1保険年度あたり16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。

	項目	内容	費用	ご負担いただく時期等
契約時 (増額時)	契約初期費用	ご契約の締結等のために必要な費用です。	一時払保険料 (増額保険料)に対し、 4.5%	特別勘定への繰入時に一時払保険料(増額保険料)より控除します。
積立 期間中	保険関係費用 ^{※1}	死亡保険金の最低保証や、ご契約の維持管理等に必要な費用です。	年率1.01%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	運用関係費用 ^{※2}	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等です。	信託報酬は 年率1.045%程度(税込) 信託報酬については、「特別勘定のしおり」をご確認ください。	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回あたり 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
年金支払 期間中	年金管理費用 ^{※3}	年金のお支払いや管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

※1 金融市場型特別勘定を選択した場合、金融市場型特別勘定の運用収益率が年率1.01%未満のときは、保険関係費用は1保険年度180日まで金融市場型特別勘定の運用収益相当額を上限とします。

※2 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用について詳しくは、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※3 年金原資を一括でお支払いする場合、「年金管理費用」はかかりません。また、「年金管理費用」は、将来変更される可能性があります。

<その他>

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル

カスタマーサービスセンター ☎0120-60-1221

Webサイト <https://www.ca-life.jp/>